



学校だより

チーム身延中

令和4年2月21日 No. 8
発行者 校長 今村弘樹

有終の美を飾る



北京五輪で高木美帆さんが5種目もエントリース、3つの銀メダルに加えて、最後の1000mで金メダルを取ったとき「5種目挑戦 五輪新で有終の美」というタイトルで報道されました。「有終の美」という言葉は「終わり良ければすべて良し」とは違います。中国に「はじめはやる気があっても、最後までやり通すことは難しい」といった言葉があり、そこから「物事をあきらめずにやり直し、最後を美しく立派に飾る」といった場面で使われます。様々な苦難を乗り越え、スケートにすべてを注いでやりきった姿にふさわしい言葉です。

令和3年度も1ヵ月あまりとなりました。3年生は卒業まであと3週間。始業式で虎太郎くんが語った言葉が「後輩にかっこいい姿を見せたい。この2ヵ月で身延中が決まる」まさに「有終の美」です。3年前に中学校生活がスタートした時の思い、いろいろあったであろう苦勞を乗り越えてきた思い、最後に向かって今を大切にしたい思い、そういったことをすべて包んで進む3年生の姿は、後輩たちに「か



っこよく」映るはずす。

先週「3年生を送る会」を開きました。感染対策で、全体で集まったり、合唱で思いを伝えたり、楽しくふれあってレクをしたり、などはできません。そこで、生徒会本部がその中でできることを企画し、1・2年生みんなで工夫をして行いました。流れた思い出のビデオには3年生のかわいらしい、入学の頃の写真もあり、3年生は懐かしそうに、たくさんの笑い声も起きて、笑顔がこぼれてい



ました。密にならないように7つのグループに分かれて行ったミニレクや1・2年生からのプレゼントなど、今年1年積み上げてきた「つながり」の総決算のような、温かい空気が漂っていました。

締めくくりの3週間。3年生はもちろん、1・2年生にとっても各学年の「有終の美」を飾りましょう。

自分自身と向き合うこと

17日に公立高校の後期入試の出願がありました。受験校も決まり、ここから最後のひと踏ん張りです。前期入試や私立高校の入試は終了し、進路が決まった生徒もいます。前期や私立の入試には「面接試験」があります。人生を決めるような面接の経験というのはそうあるわけではなく、中学生にとってその緊張感とはとてもないものだと思います。ただ、面接試験がある3年生と何度か練習をして感じたのは、これってとても大切なものだということです。

「中学校で自分が成長したことは何だろう」「自分の長所って何だろう」「行事や部活動で学んだことは何だろう」…

「影響を受けた本は」「高校で何を頑張るのか」「将来の夢は」「尊敬する人は」「家族への思いは」「どんな人になりたい」……。自分自身を振り返って、向き合うこと。正解を見つけるのではなく、自分を見つめること。それをきちんとした場面で表現すること。なんとなく避けたいことでもあるけど、次に向かうためにとても大切なことだと改めて感じました。

「中学校で成長したこと」に多くの生徒が口にしたのが「コミュニケーション力が付いた」というものでした。「誰とも気軽に話せるようになった」といったことに加え、「人前で自分を表現することができるようになった」や「相手の気持ちを考えて行動できるようになった」といったことも含まれています。

「中学校で印象に残ったこと」はやはり輝桜祭や合唱発表会でした。特に3年生での行事の中で、「仲間を思いやった行動ができたこと」や「先生の手を借りずに自分たちで創り上げたこと」など、表れた成果だけではなく、そこに至る姿や成長が心に深く残るということでしょう。

面接に向かった生徒だけでなく、他の3年生、そして1・2年生にもぜひ、自分自身と向き合ってほしいと思います。

With コロナの社会で

秋頃のこのまま収まればという思いもむなしく、オミクロン株の流行により日本中で感染者数が増え、私たちの身近に迫っています。現在、臨時特別協力要請がさらに延期され、家庭での丁寧な健康チェック、登校時の確認、部活動の自粛などの対応とともに、これまでの感染症対策をより徹底しているところです。町からは各教室などに最新型の空気清浄機を11台も入れていただきました。今のこの状況では誰が感染してもおかしくありません。学校ではクラスターが起きないように、濃厚接触者がでないよう、取り組んでいきます。

実は、私は3学期が始まってすぐ発熱してしまいました。ほぼ毎日同じだった体温が少し高く、でも6度台だし誤差だろうと、1日過ごしていると寒気を感じました。家に帰ると熱が高く、すぐに隔離して、翌日、病院で検査です。結果が出るまでの間、陽性と言われたらどうしようという不安にさいなまれていました。県外から正月に息子が帰ってきていたことも不安の一つでした。職員や会って話をした人たちにうつっていたら…、そうでなくても校長が陽性になったら学校の様々な行事や活動にも影響が出るだろう、峽南の校長先生の会議も中止になりました。病院から電話が来て陰性だと言われたときの安堵感たるや…。そうだとでも反省しました。陽性にならなくても、この思いです。感染してしまった人は病気に対する心配に加え、そんな不安がのしかかる中での日々を送ることになります。今後もそういったことが起こるでしょう。感染に対する注意とともに、つらい思いをすることになってしまった仲間への思いやり、温かい関わりをしていきたいものです。

西関東アンサンブルコンテストで 銀賞

コロナの状況が厳しい中での練習を乗り越え、西関東大会という大舞台で、山梨県の中では最高賞（2校）を獲得。大会前には全校の前で披露し、その素晴らしい演奏に全校が引き込まれました。

おめでとう！



■ アンサンブルコンテスト西関東大会

吹奏楽 銀賞 打楽器八重奏

堀内唯加・篠原佑芽・中 弥博・中込 奏・渡邊未空・望月心羽・粕谷 亘・望月響喜

■ 教育祭県下小中学校 書き初め大会

県特選 片田光希・鈴木隆太・高松みらい・竹内こゆき・望月晶翔・若林伸之介・青柳快・佐野弘和・沼澤史稀・服部準平・深沢修平・近藤心優・両角心寧

■ 九年間むし歯のない子の表彰

遠藤朔哉・加賀美瑞穂・近藤心優・依田陣・市川隼・上田国善・大島麻帆・榊原由依・中山美里・益子恵

ご協力を

アルミ缶回収にご協力をお願いします PTAから保管用プレハブ贈呈

輝桜祭の時、広報編集委員会からの呼びかけで「アルミ缶回収」に協力してもらいました。その収益を利用し輝桜祭ラストを飾る花火を打ち上げることができました。次年度に向けて継続して取り組もうと生徒会が企画している中、PTAでも協力をしたいと「保管用のプレハブ」を購入いただき、先日PTA役員の方から生徒に贈られました。充実した輝桜祭ができるよう取り組む生徒たちにご協力をお願いします。身延中グラウンドの体育館脇にあります。地域の方も含めてご協力いただければ幸いです。

